

## 実験スキル評価シート

分野名 情報分野

学年配当

2

実験テーマ名

データサイエンス基礎演習

到達レベル

2

番号

氏名

| 項目        | スキル                 | 到達目標   | レベル2相当                                 |   |  |   | 自己評価 |
|-----------|---------------------|--|--|---|--|---|------|
|           |                     |  | 2A                                     | 2B  | C  | D   |      |
| 事前準備計画と実施 | 用語の整理               | データサイエンス分野の基礎的な用語を説明できる。                     | 手引書にある知らない用語について事前に調べ、周りの班員を助けることができた。 | 手引書にある知らない用語について事前に調べた。                           | 教員や他の班員に助言を受け、手引書にある用語を理解できた。                        | 手引書の内容が理解できなかった。                          |      |
|           | ソフトウェア R とは         | ソフトウェアRを利用して簡単な計算ができる。                       | 自ら調べて、ソフトウェアRを利用して簡単な計算を実行することができた。    | 教員や他の班員からの若干の助言を受け、ソフトウェアRを利用して簡単な計算を実行することができた。  | 教員や他の班員からの詳細な助言を受け、ソフトウェアRを利用して簡単な計算を実行することができた。     | 助言を受けても、ソフトウェアRを利用して簡単な計算を実行することができなかった。  |      |
| 計画と実施     | データの統計的な処理          | ソフトウェアRを利用して、中央値や分散等の統計に関する数値を求めることができる。     | 自ら調べて、ソフトウェアRを利用し統計に関する数値を求めることができた。   | 教員や他の班員からの若干の助言を受け、ソフトウェアRを利用し統計に関する数値を求めることができた。 | 教員や他の班員からの詳細な助言を受けながら、ソフトウェアRを利用し統計に関する数値を求めることができた。 | 助言を受けても、ソフトウェアRを利用し統計に関する数値を求めることができなかった。 |      |
| 析結・果考・察分  | データの可視化             | ソフトウェアRを利用して、ヒストグラムや散布図を利用し、データを可視化することができる。 | 自ら調べて、ソフトウェアRを利用しデータを可視化することができた。      | 教員や他の班員からの若干の助言を受け、ソフトウェアRを利用しデータを可視化することができた。    | 教員や他の班員からの詳細な助言を受け、ソフトウェアRを利用しデータを可視化することができた。       | 助言を受けても、ソフトウェアRを利用しデータを可視化することができなかった。    |      |
| 資料の選定     | 適切な参考文献の選定          | 必要な参考文献を引用できる。                               | 必要な参考文献を3点以上引用することができた。                | 必要な参考文献を3点未満1点以上引用することができた。                       | 他の班員の助言を受けて、参考文献を見つけることができた。                         | 参考文献を見つける事ができなかった。                        |      |
| 表現のルール    | 適切なレポートを作成することができる。 | 正確な報告書作成する                                   | 誤字脱字がなく、論理的に正しいレポートを作成することができた。        |   | 他の班員からの助言を受けて、誤字脱字がなく、論理的に正しいレポートを作成することができた。        | 誤字脱字がなく、論理的に正しいレポートを作成することがなかった。          |      |